

氏 名	: 原口 昌宏
学 位 の 種 類	: 博士（看護学）
学 位 記 番 号	: 博看第13号
学位授与の要件	: 学位授与基準第4条第1項該当
学 位 論 文 題 目	: 慢性疾患患児の父親の Sense of Coherence
研究指導教員	: 教授 竹内 朋子
論文審査委員	: （主査）中島 美津子 （副査）篠木 絵里, 久保 恭子, 内山 孝子, 竹内朋子

論文審査結果の要旨

診断・治療技術の向上や医療設備の充実により、慢性疾患患児は、医療を必要としながら成長できるようになった一方で、その家族は育児や医療処置などの療養生活を送る上で多くの問題を抱える。社会の変化に伴う父親の積極的育児への取り組みは増えたが、支援対象は患児や母親が中心とされ、父親への支援は十分とはいえない状況である。このような状況を踏まえ、本研究では慢性疾患患児の父親に焦点をあて、その父親の精神健康とストレスの関連、ストレスが精神健康に及ぼす影響と **Sense of Coherence**（以下 **SOC**）の関連、**SOC** とソーシャルサポートの関連を明らかにすることを目的とした。

慢性疾患患児の父親と健常児の父親を対象に、父親・子どもの基本属性、父親のストレス反応を表わす精神健康指標に **Kessler 6 scale**、人生満足感尺度に **The Satisfaction With Life Scale**、ストレス認知指標として日本語版 **SOC : Sense of Coherence-13**、以上の尺度によるクローズ型インターネット法及び郵送法による無記名自記式質問紙調査を実施した。

その結果、慢性疾患児がいること、子どもの医療処置数が3つ以上であることが父親の精神健康の悪さと有意に関連。高ストレス下では **SOC** 低群は **SOC** 高群よりも有意に精神健康が不良であった（低ストレス下では有意差無し）。さらに慢性疾患患児の父親の **SOC** はソーシャルサポート全体、下位因子である道具的サポート、情緒的サポートとそれぞれ有意な正の関連性が確認された。

これらの結果は慢性疾患患児に父親のストレスや心理的特性を理解した上で、問題解決のための情報提供支援だけではなく、心情を表出したり、他者と繋がりを実感できたりするような支援の重要性が示唆された臨床的価値のある研究と考えられる。

以上により、本論文及び審査会における質疑応答を総合的に勘案し、学生規定第4条第一項に定める博士（看護学）の学位の授与に値するものと評価した。

令和4年1月31日

論文審査委員（主査） 中島 美津子